

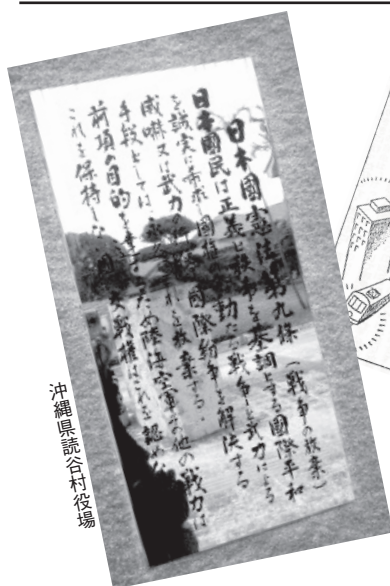
九条の碑…スペイン・テルデ市・
ヒロシマ・ナガサキ広場



特集1 9条実現を 目指して



沖縄県石垣市新栄公園



沖縄県読谷村役場

日米安保の呪縛・責任の問題・言葉の詐術

—これまでの日本とこれからの日本を考える

高橋 武智

右頁掲載の会声明は、総選挙の結果を受けて発表されたものだが、その後の事態も加え、少し長い尺度で考えてみたい。

危機下の日本国憲法

—ワイマール憲法と対比して

30年ぐらい前だったか、逆コース（朝鮮戦争以降は「逆コース」の連続だが）問題に触れたドイツ研究者との雑談の際、こんな話が出た。「日本ももう一度負けなければ、ダメなんだろうね。」

第一次大戦後、ドイツの戦争能力を根こそぎ奪おうと、ベルサイユ講和会議は苛酷な条件を課した（日本が「南洋群島」の統治権を手に入れたのもこの時）。

ドイツ国内では、敗戦のきっかけがキール軍港での水兵の反乱だったこともあり、紆余曲折の末、ワイマール共和国（かつてゲーテ、シラーらの文豪が活躍したワイマールで憲法制定国民議会が召集されたことにちなむ呼称）が1919年に成立する。その憲法は、28年のパリ不戦条約より前だから、戦争の放棄は含まないものの、当時最も先進的・民主的な憲

法だったといわれたが、ベルサイユ体制を敵視しつづけるヒトラーによる「合憲的な」権力奪取とともに、33年に崩壊、第二次大戦への道を歩んだ。

大戦後、51年の対日サンフランシスコ講和条約を「寛容と和解」の講和と呼んだのは、たしか首席全権の吉田茂だが、代表団中、吉田だけが署名した日米安保条約にしばらくして、朝鮮とベトナム、二度の熱戦をふくむ冷戦期を経て現在にいたるまで、日本は米国との軍事同盟下にある。こうした歴史認識を最初に押さえておきたい。

安倍政権の本質

誕生した安倍政権は、7月の参院選挙で与党（自民党と公明党）が過半数をとることをめざし、選挙期間中にぶちあげたタカ派的スローガンを一時「封印」、アベノミクスの名のもと、景気対策を前面に押し出す戦術をとっている。

だが、党幹部や閣僚もいずれ劣らぬ極右で、その就任発言からは、衣の下に鎧（よろい）（＝政権の長期目標）が透けてみえる。今度の政権交代は、

民主党政権より前にもどるのではなく、(各国のメディアが適切に指摘しているとおと)明らかに極右へ舵を切ったものだ。かつての軍国主義教育を知る者として、教育改革は特に警戒の要がある。

前項につながる軍事面でいえば、日米安保の発展形態である「ガイドライン」(日米防衛協力のための指針)の改訂交渉が防衛・外務両省の担当官同士ですぐにも始まる事実は、日本自体の「防衛大綱」を今年中に見直すこととしつかりリンクしている。米国流民主主義とは縁もゆかりもないのに、「両国が共有する価値観」を強調するのが阿倍の口癖だが、こうして一段と強化されようとする日米同盟は、アジア諸国までまきこみ、対中包囲網の形成を狙うものだろう。

北朝鮮はやや後景に退いたようだが、あの国が衛星打ちあげと称して、実質的に大陸間弾道ミサイルの実験をしたとするなら、すでに何度も衛星を打ちあげた日本は、どれほど恐るべきミサイル発射能力をもっていることか!

実際、「インタナショナル・ヘラルド・トリビューン」(「ニューヨーク・タイムズ」の世界版(12・11・27付))によると、日本は戦後始めて、アジアの国ぐに(カンボジアと東チモール)に「ほとんど気づかれないよう」にして、兵士の訓練と装備の提供をしたという。ニコニコ動画では、「東アジア大戦争」が「第三次大戦」に発展していく、荒唐無稽だが「痛

快」らしい大スペクトルに若い人たちの人氣が集まっているようだ。地域をこえますますグローバル化しつつある日米同盟の行く手と無関係ではあるまい。

日本人の責任意識

戦争責任論と原発責任論とを連動してとらえる論調が登場しているのに共感する。筆者の考えでは、大量殺人・殺戮をふくむ国家の反人道的な刑事犯罪の責任をだれ一人とつていない、あるいは市民みずからが裁いていないという一点で、両者はまったく共通している。二度の大戦を経た西ドイツ・ドイツは、その裁判所で、自国民の戦争責任を時効なく追及しているのに、日本では責任意識の希薄さは早くから指摘されながら、いまだに共同的な仲間うちの「かばいあい」がつづいている有様である。

曖昧語を解きほぐす

眼前で進行するこれらの政治的詐術は、言葉の巧みなすりかえを利用しておこなわれ、メディアによって拡大再生産されている。

3・11後の二年間、いやというほど聞かされたつづけた「国難」「国益」は、「国民」それとも「国家」の「難・益」のことなのか(国には英語のネイションに通ずる両義性がある)、いやむしろ国家を僭称する一部集団の「難・益」といふべきではなからうか。

「財界」「経済界」、つまり経団連や経済同

友会などに集う大企業のリーダーたちは、「富裕層」と呼ぶのこそふさわしい。

今編成中の18ヵ月予算でいう「財政出動」とは、「公共事業」、とりもなおさずハコモノや巨大インフラへのバラマキを指す。これでもうけるのがだれかはおのずから明らかだ。

原発事故後、東電や政府発表のおうむがえしに終始したNHK報道に怒って投書したが、そのとき、具体的実例として名をあげたキャスターは、今も恥じることなく、同じ役をつとめている。「公共放送」、実は「国営放送」なのである。

毎日目を通して「朝日」の記事がかなり署名入りになったのは責任の所在を示す点で歓迎できるが、最近複数署名の記事が目立ってきた。視点や内容が折衷的な記事へと逆行せざるをえない。

「言霊の幸ふ国」は、今や詐欺師たちの跋扈する国となったといわざるをえぬ。

安倍のかかえるジレンマ

いちばん大事なことが最後になった。

総選挙の最大スローガン、「日本をとりもどす」は、領土問題などでナショナリズムをかきたてられた有権者に一定程度アピールした。しかし、すでに見たとおり、日本は日米安保の枠内にある。法的にも、国際条約は国内法に優越するそうだが、その意味で安保は憲法の上位にある。

独善的なナショナリズムを鼓吹すればする

ほど、対米同盟のしほりとの矛盾は大きくならう。安倍はかつての極小「親米右翼」派と同じ運命をたどるだろう。この矛盾がいちば

ん突出するのは、沖縄のかかえる諸問題を通じてであるにちがいない。

(たかはし・たけとも／本誌編集委員)

市民の世論で改憲をとめよう

中北 龍太郎

本格改憲政権の登場

衆院選で、憲法改正を公約に掲げた自民党が圧勝し、「無効の憲法は破棄すべきだ」と訴える石原が率いる日本維新の会が伸張した。その結果、衆院では改憲派議員は朝日新聞社の調査で89%にのぼっている。

第1次安倍政権は、改憲を要とする戦後レジームからの脱却によって「美しい国」をつくると唱え、その一環として改憲手続法を制定し、改憲に向けていわば外堀を埋めた。その後下野した自民党は、10年1月新綱領を決定し、そのトップで「新憲法の制定を目指す」と謳い、改憲政党であることをより明確にした。そして、「真の独立国になった日を機会に憲法改正をしっかりとやろう」という方針のもとづいて、サンフランシスコ講和条約60年となる12年4月27日、「日本国憲法改正草案」を発表した。こうした改憲の動きの延長線上で、改憲を前面に出した衆院選の公約がつけられた。

改憲への様々な動きの中心に安倍がいたことはいうまでもない。安倍の改憲への執念は、安倍が最も尊敬する政治家であり、A級戦犯で60年安保改定を強行した祖父岸信介元首相の改憲の悲願に由来している。安倍第2次政権が改憲の本丸攻めを仕掛けてくることは必至だ。

新改憲案の危険な本質

日本国憲法改正草案(新改憲案)は、05年(小泉政権時代)公表の自民党「新憲法草案」(05年案)よりも国家主義的内容が顕著になっている。それは、1950年代に岸らがつくった9条を要とする戦前の天皇制国家を範とする復古的な改憲案と五十歩百歩である。新改憲案のポイントを、05年案と比べながら見ていこう。

日本国憲法の最大の特徴は立憲主義と平和主義を結合したところにある。この特徴は、憲法前文の「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意

し」で憲法を確定したと述べたくだりに明確に表れている。この決意を具現化したのが憲法9条である。これに対し、新改憲案の前文は、憲法制定の目的を「天皇を戴く国家」を「末永く子孫に継承」することにあるとしている(05年案の「象徴天皇制を維持する」よりも復古的なものになっている)。そうすると憲法は、市民による政府に対する平和のためのしほりではなく、天皇制国家を護るための市民へのしほりになってしまふ。近代憲法の根本原理である立憲主義の破壊は、99条の「天皇：その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。」との憲法尊重擁護義務の規定を変えて、国民にその義務(その実質は天皇制国家に忠誠を尽くす義務)を課し、天皇をその対象から除外している点にも表れている。新改憲案は、国家と国民との関係を180度変えてしまうことになる。

新改憲案は、05年案の「自衛軍」を「国防軍」に「格上げし」て、集団的自衛権の行使を認め、「国際的に協調して行われる活動」や「公の秩序を維持する活動」などを行う権限を与え、他国の領土における武力行使、海外での戦争をできるようにしている。しかも、「緊急事態」の章では、内閣が国会をバイパスして、人権制限や服従義務を課す政令を制定できるようにして、戒厳令の復活をもくろんでいる。さらに、「機密の保持に関する事項は法律で定める」という規定を盛り込んで、市民の知る権利の蹂躪、政府による情報統制を